

プロジェクト名： 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

プロジェクトの規模：

- ・ NEDO予算総額（2020年度）18.8億円(予定)
- ・ 実施期間2007年度～

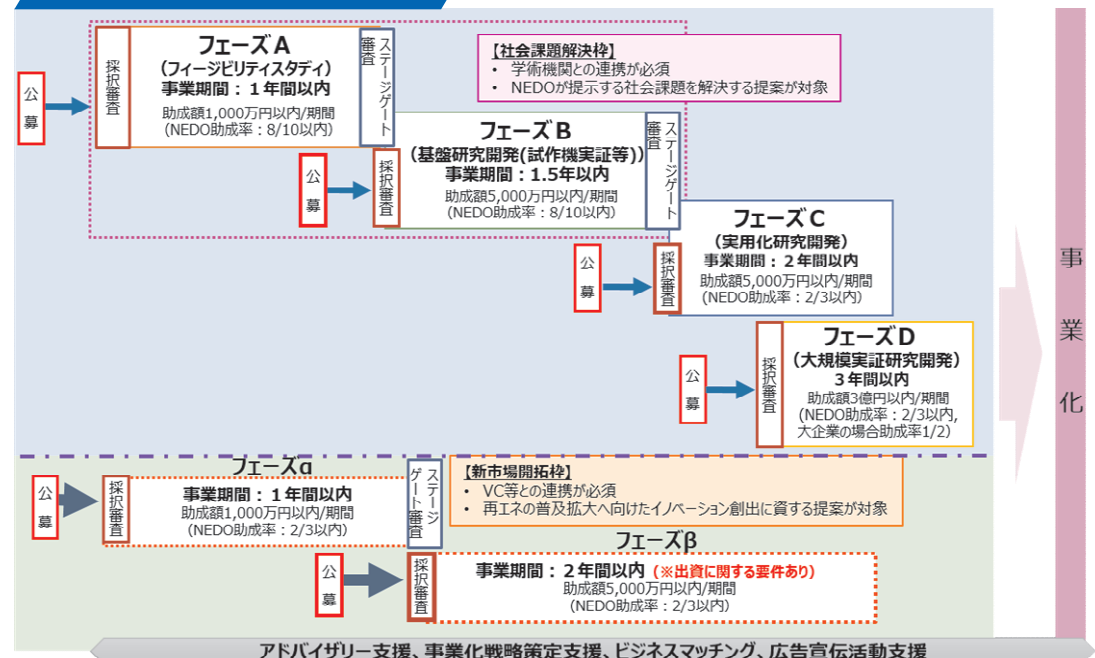
研究開発の概要と目的

- ・ 再生可能エネルギー分野における、中小企業等が有する技術シーズを活用した研究開発を支援し、事業化に結びつけるための制度として運営します。
- ・ 研究開発や事業化計画の進捗状況等に応じて、6つのフェーズに分けて、研究開発を助成します。
- ・ 優れた研究開発テーマを継続的に支援することを目的に、次フェーズへの移行の可否を判断する、ステージゲート審査を導入しています。
- ・ エネルギー基本計画、新成長戦略等に示されている、以下の①又は②の分野に該当し、再生可能エネルギーの普及につながる提案を公募します。
 - ① 太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー(ただし、原子力を除く。) 分野
 - ② 再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術(燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等)
- ・ 研究開発から事業化に結びつけるための様々な支援を事業期間中に行います。
- ・ イノベーション・コースト構想の対象地域で実施する提案について、支援を強化します。

研究開発の内容

- (1) 社会課題解決枠 フェーズA
中小企業等が、事業化に向けて必要となる基盤研究のためのフィージビリティ・スタディを、産学官連携の体制で実施
- (2) 新市場開拓枠 フェーズα
中小企業等が、事業化に向けて必要となる基盤研究のためのフィージビリティ・スタディを、VC等からの支援を得て、実施
- (3) 社会課題解決枠 フェーズB
中小企業等が、要素技術の信頼性や品質の向上、プロトタイプを試作及びデータ計測等、事業化に向けて必要となる基盤技術の研究を、産学官連携の体制で実施
- (4) 新市場開拓枠 フェーズβ
中小企業等が、要素技術の信頼性や品質の向上、プロトタイプを試作及びデータ計測等、事業化に向けて必要となる基盤技術の研究を、VC等からの支援を得て、実施
- (5) フェーズC
事業化の可能性が高い基盤技術要素を有している中小企業等が、事業化に向けて必要となる実用化技術の研究開発、実証研究等を実施
- (6) フェーズD
既に、基盤技術を確立しており、それを実証する能力を有する中小企業等が、必要に応じて、自治体や大企業等と連携し、事業化に向けた大規模な実証研究を実施

事業イメージ



※ 詳細は公募要領等をご参照ください